

わたしたちの町
人口 男 4,737人
女 5,160人
計 9,897人
11月中の転入 33人
" 転出 41人
世帯数 2,211世帯
(11月30日住民登録人口調)

広報あいかわ

合川町広報

No. 197

発行日・48.1.10(3,000部)

発行 秋田県合川町

合川町役場

編集 企画課

今月開局をメドに

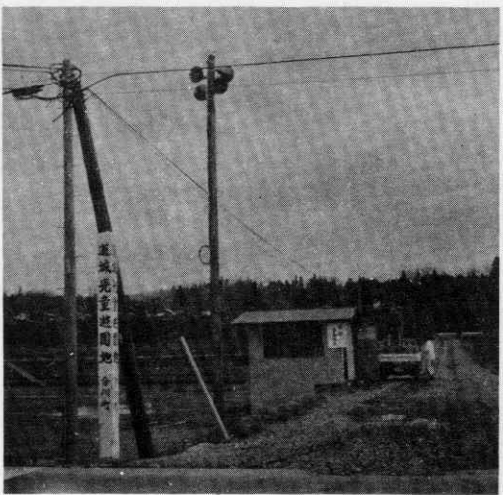
広報無線工事を開始

支局は町内十七カ所に設置

今年度の重点事業として建設を予定されていた「広報無線設置事業」は、十一月末、東北電波管理局より予備免許の認可がおりましたので、いよいよ今月開局をめざして工事を始めました。

この事業は、災害など緊急事態の発生による予告、通報などによって、住民の生活安定を図り、さらに各種広報活動により行政効果を高めようとして設置するものです。

支局は、町内十七カ所道城・上杉・下杉・川井・大野台・八幡・木戸石・増沢・李岱・新田目・羽根山・西根田・芹沢・三三・三木田・鎌沢・杉山田に設置



支局に設置された拡声機

十二月定例議会

合川町一般会計補正など七議案可決

十二月十四日に招集された十二月定例町議会は、十八日まで五日間の会期で審議され、提出された七議案を可決して閉会しました。

可決されたおもな議案のあらましは次のとおりです。

合川町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

一般職員の給与について、人事院勧告がなされ、昨年四月一日にさかのぼって支給されるよう改正したものです。一般職員の給与を、平均十二%引き上げるとともに、扶養手当など諸手当も引き上げたものです。

年頭にあたって



町長 畠山義郎

新年おめでとうございました。今年も又雪のない正月となりましたが、町をはなれて出稼ぎに出ていた人々も、そのほとんが家に帰ってきました。量共に活気に溢れていま

窓口支払いは不要

受給者証をもりましたか

老人医療費

昭和四十八年一月一日から、満七〇才以上になられた方の保険給付の対象になる医療費は、全額窓口で支払う必要がなくなりました。該当者の方々は、次の点についてご承知して下さい。

一、「老人医療費受給者証」

昭和四十七年度合川町一般会計補正予算(第六号)

昭和三十七年度合川町一般会計補正予算(第六号)

今年こそ「無火災」の町に

多かつたタバコの不始末、子供の火遊び

我々住民の日常生活は、無事平穏でなければならぬ。常に多くの災害にあって脅かされている事実、なかば宿命とはいえ、なんともやりきれません。そして、火災もその一つです。

寒くなるにつれ、さまざまな暖房器具が家庭で使われておりますが、これによって、冬期間は例年火災が多くなっています。それだけに、火は慎重の上にも大切に取扱っていただきたいものです。

46年度の九月末までの北秋町村別の火災発生状況は、

合川消防出張所では、予防査察を通じてあらゆる建物に立ち入り、火気取扱いの状況を調べ、消防設備の設置を促したり、維持管理について検査をしておりませんが、まだ徹底されておらないようです。



予防査察を行なう消防職員

人事異動

(一月一日付)

- 桜井栄治(保健課長)
- 総務課長へ
- 杉浦佐一郎(総務課長)
- 税務課長へ
- 福岡昭二(農委事務局長)
- 保健課長へ
- 佐藤隆雄(保健課)
- 総務課へ
- 成田清二郎(総務課)
- 税務課へ
- 畠山錠悦(財政課)
- 企画課へ、併せて財政課勤務
- 杉浦光徳(税務課)
- 合川町農業委員会事務局長へ
- 金田仁市(広域組合)
- 公立合川高等学校組合へ派遣
- 工藤博(企画課)
- 鷹巣阿仁広域市町村圏組合へ派遣

人づきあいを考える

司会 部落なり隣り近所とつきあいをしながら生活をしている訳ですが、どういふものですか木村さん。



木村(吉)さん

木村吉治 部落内とか親類つきあいは、義理もあることだし冠婚葬祭には必ず出るのでないですか。

私たちが年になると人づきあいを大事にするようになる。

木村四郎 近所づきあいはよい人と悪い人がある。年とるに従い土地に対する執着が強くなるのでないでしょうか。

畠山町長 一般的には、つきあいを大事にする傾向にある。

世の中がどんどん変わって結婚式などは変ってしまつた訳ですが、葬式は変らない。大部分土葬だし行列も従来どおりだ。時間もかかるし、交通安全の点からも考えさせられるがよいとか悪いとか別にしてどうですか。

木村四郎 一生一代を終わったのですから、家族だけでなく知人、友人皆んなに送らせたい。

佐藤忠一郎 葬式の行列はいままでどうりでよいな。あの時は寒かったとか暑かったとか印象に残るからね。

木村吉治 下村では参列者が少ないようだ。部落内に通知したらいという話もあるが。

司会 参列者の多少には貧富の差がないね。

畠山町長 時間がかかっても行列には賛成だ。あれがなくなると農村のよさがなくなる。近所づきあいは葬式をもつて代表されるのではないか、人柄の集約された姿だといつても過言ではない。

行政に期待する

司会 町長さん、教育長さん、出稼ぎの問題、また、農業構造改善事業等、行政に対するいろいろな希望があると思ひます。

木村四郎 直線道路に街灯をつけてくれとの中学校PTAの希望でしたが、畠山町長 つけた筈だね教育長さん。

旧村時代と違っていわゆる近隣社会的な行政が出来なくなつた。電話とか自動車等便利になつたので具体的な用件では行政的にマイナスになつてゐると思ひないが、住民と直接に接触する機会が少なくなつてゐる。時代も変わつてゐるし、住民の側でも或る程度応じてもらひたい。

自分で行ふことと役場でやることを区別してもらひたい、今の社会は何んでも行政側でやるべきだといふ考え方もありますが、四十年代以前の人たちには家庭内のことは自分で守るといふ気持があるね。

佐藤忠一郎 農業構造改善事業は、目的どおり実施されてゐるものですか。合川町では、専業農家をあてて作らないで協業方法で進め

てゐるようですが。

畠山町長 第四工事を残してゐるが大体目標どおりいつてゐる。旧来の農民心理や慣行からして田をとられるような感じになると思ふ。国の専業農家を作ると



佐藤さん

いう方針とは違ふ訳ですが農地を個人所有の形で協業化を進めていく。

農地が未だ分散もしてゐるし圃場の整備が出来てゐない所もある。農機具の効率など色々まだ問題もあると思う。未整備の圃場についても耕作者の意向がまとまつた所から実施する。

木村四郎 協業組合に加入して本当によかつた。三反歩区画ではどうしようかと心配してゐたのに。安心して田植が出来た。

木村吉治 これからは農業をやする者が少くなつてゐる。そういう意味で農業構造改善事業とそれによる協業組合はよいと思ひます。そこで、余乗労働力による働き口を、ということになるのですが、大野台の企業誘致の見通しはどうでしょうか。

畠山町長 まだ二、三年ぐらゐかかると思ひます。来年度排水施設工事をやることになつてゐますが、用水の問題がある。県ではもつと面積を広げる話もあるが現在の五二haでもよいと思ひます。というのは阿

仁川の水を湯水期(毎秒九t)の三分の一以上あげられると川の形態も変わつてくるといふし、将来上水道とも係りあひをもつことなのですから自然保護といふ

見地からもこれ以上面積を広げるとは、既存住民の生活や農家人口も問題となつてゐるのではないかと。いままでは中小企業の誘致で賃金も比較的安かつたが、これから誘致されるのは大企業である。賃金も

司会 町長さんは安心して生活できる町づくりを進めてゐますが、皆さんは新しい年に何を望んでゐますか。

高橋慶治 近隣、地域社会によい事なら出来るかぎり協力してゐたい。

木村吉治 出稼ぎのない町をつくるために企業誘致をしてもらひたい。

佐藤忠一郎 生きがいは仕事に徹することです。方針は来年度も変わらない。桜田修一 自分の仕事を通して下水道など環境整備事業で社会のためになるよう

なことをしたい。木村四郎 家庭のためにも健康第一に考える。それから、町内の身障者がより明るく社会的にも楽しい生活が出来よう、又寝たきりの人もいますので身障者の年金制度を確立してもらひたい。

木村富一郎 失業がないような制度を確立されるようにしたい。

司会 長い時間どうもありがとうございました。司会のまずさから上手に話を引き出せなかつたことをお詫言します。

中央並みになると思ふ。最近の朗報では、県で来年度、大内沢に天然ガスを掘ることです。必ずあるということですから地元消費の体制も出来るのではないかな。二、三〇〇m掘るそうですから湯でも湧くとね。

金田教育長 科学が進歩して人間性が疎外されるよう

木村(富)さん

な社会になつてきたが、総て科学で説明されなくともよいではないか。夢があつたらいいね。

畠山町長 四〇代は、家庭の全責任を負つてゐる。合川町も学校もたてなければならぬし、無い金を上手にやりくりして新しい年も破たんを来たさぬよう町民の期待にそえる努力をしたい。

司会 長い時間どうもありがとうございました。司会のまずさから上手に話を引き出せなかつたことをお詫言します。

木村(富)さん

町政モニター

問 若い共稼ぎの家庭のために、安心して乳幼児を預けて働らくことの出来る施設を、町に設立していただきたいのです。

(四〇代・主婦・三木田)

問 砂利運搬車が道路に大きい石、小さい石をこぼして行きます。歩行者、自転車の人は迷惑しておりますので、車から砂利をおとさないように、交通安全会で呼びかけて下さい。

(四〇代・公務員・木戸石)

問 農業構造の改善によつて働らく婦人が増加してゐるため、三才未満児の保育施設が必要と思ひます。しかしながら、施設するに当つては、設備内容、建設の場所、入園希望者の実態など把握しなければならぬので、現在対象者にアンケート実施してあります。

問 調査資料を参考として上で善処すべきであると考えております。

問 道路が舗装されて、よくなつておりますが、最近ダンパーによる

合川中学校林 全校生徒が絶出、町有地山根沢(西根田)に一万本の杉苗を植樹しました。今後は、中学校、町が共同管理を行ない、成長した学校林から生ずる収入は、すべて中学校の施設整備の資金として活用されることになつており、各方面より期待されてゐます。

問 町政モニター

問 町政モニター

問 町政モニター

問 町政モニター

問 町政モニター

問 町政モニター

問 町政モニター

合川町議会議員選挙 任期満了にともなう町議会議員選挙は三月二十九日行なわれ、この四年間町民の代表として働いてくれた二十二名の議員さんが決定しました。

合川町議会議員選挙 任期満了にともなう町議会議員選挙は三月二十九日行なわれ、この四年間町民の代表として働いてくれた二十二名の議員さんが決定しました。

合川町議会議員選挙 任期満了にともなう町議会議員選挙は三月二十九日行なわれ、この四年間町民の代表として働いてくれた二十二名の議員さんが決定しました。

合川町議会議員選挙 任期満了にともなう町議会議員選挙は三月二十九日行なわれ、この四年間町民の代表として働いてくれた二十二名の議員さんが決定しました。

合川町議会議員選挙 任期満了にともなう町議会議員選挙は三月二十九日行なわれ、この四年間町民の代表として働いてくれた二十二名の議員さんが決定しました。

合川町議会議員選挙 任期満了にともなう町議会議員選挙は三月二十九日行なわれ、この四年間町民の代表として働いてくれた二十二名の議員さんが決定しました。

合川町議会議員選挙 任期満了にともなう町議会議員選挙は三月二十九日行なわれ、この四年間町民の代表として働いてくれた二十二名の議員さんが決定しました。

合川町議会議員選挙 任期満了にともなう町議会議員選挙は三月二十九日行なわれ、この四年間町民の代表として働いてくれた二十二名の議員さんが決定しました。

ゴミ焼却炉完成 生活の向上に伴ない、増加するゴミに対処するため、廣瀬・阿仁地域環境衛生組合では増沢地内にゴミ焼却炉を建設しました。

合川町議会議員選挙 任期満了にともなう町議会議員選挙は三月二十九日行なわれ、この四年間町民の代表として働いてくれた二十二名の議員さんが決定しました。

合川町議会議員選挙 任期満了にともなう町議会議員選挙は三月二十九日行なわれ、この四年間町民の代表として働いてくれた二十二名の議員さんが決定しました。

合川町議会議員選挙 任期満了にともなう町議会議員選挙は三月二十九日行なわれ、この四年間町民の代表として働いてくれた二十二名の議員さんが決定しました。

合川町議会議員選挙 任期満了にともなう町議会議員選挙は三月二十九日行なわれ、この四年間町民の代表として働いてくれた二十二名の議員さんが決定しました。

合川町議会議員選挙 任期満了にともなう町議会議員選挙は三月二十九日行なわれ、この四年間町民の代表として働いてくれた二十二名の議員さんが決定しました。

合川町議会議員選挙 任期満了にともなう町議会議員選挙は三月二十九日行なわれ、この四年間町民の代表として働いてくれた二十二名の議員さんが決定しました。

合川町議会議員選挙 任期満了にともなう町議会議員選挙は三月二十九日行なわれ、この四年間町民の代表として働いてくれた二十二名の議員さんが決定しました。

財政白書

46年度合川町の台所

七会計しめて八億七千六百万円

町民のみなさんが納めた税金や、その他、町の収入が、どのように使われているのか、また町政が、どんな方向に進んでいるのだろうか……などを詳しく知っていただくために、46年度一年間の町の台所はどのようなか決算から拾ってみることにしました。

46年度各会計決算
一千一百万円の黒字

昭和四十六年度決算は、去る九月定例会で認定されましたが、一般会計のほか国民健康保険特別会計、簡易水道事業特別会計、企業誘致特別会計、宅地造成事業特別会計、合川診療所特別会計、簡易水道施設建設特別会計など七会計の合計は歳入総額八億八千六百七十六万五千円で歳出八億七千六百七十四万九千円となり差引ますと、一千一百万円の黒字となり、第一表のように健全財政を維持していることになりました。

国保単年度は赤字

国民健康保険特別会計は昭和四十六年度の決算において、歳入総額九千二百四十二万四千円、歳出総額八千九百六十二万九千円、実質収支額二百七十九万五千円となるが、前年度繰越金六百五十五万六千円がはいり、実質的には単年度分として三百七十六万一千円の赤字をみるにいたりしました。

五特別会計
目的を達成

簡易水道特別会計は、歳入二百五十六万二千円、歳出二百二十三万五千円、実質収支額三十二万七千円となり、これは羽根山・鎌の沢・駅前水道管理費と公債費が内容となっています。

町債
各種事業に
四億四千万円

昭和四十六年度決算の時点における起債の総額は、四億四千四百九十九万四千円であり、このお金がどんな事業に使われたものであるかは、第4表が示すとおりです。

国への依存度八割

農林二億二千万円でトップを占める

一般会計は第二表のとおり、歳入総額七億一千九百九十八万四千円に對して、歳出総額七億一千四百六十五万二千円、差引残高は五百三十三万二千円と大幅な黒字になっています。

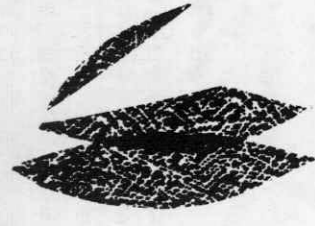
内容は歳入では、自主財源が全体の二〇・六％で、町税(町民税、固定資産税、たばこ消費税)五千六百五十五万五千円、使用料・手

千円。総務費は町営林事業、一般的経費が主なものとなり、一・八％の八千四百六十一万一千円。そして、町道舗装を主とした土木費は十一・二％七千九百九十九万三千円となり、公債費、民生費が引きつづきます。

また、一般会計の歳出についての性質別内訳をみると、第三表のようになります。総体の四八・〇％が投資的経費(道路・橋梁・学校建築・宅地造成)で、次いで人件費が十八・四％、補助費等が一四・六％、公債費七・七％の順になっています。

昭和四十六年度決算の時点における起債の総額は、四億四千四百九十九万四千円であり、このお金がどんな事業に使われたものであるかは、第4表が示すとおりです。

これは借りたものですが、償還しなければならぬことは当然であります。災害復旧や減税補てん償など、その償還額の大部分が国から交付税・補助金などによって措置されるものや、住民に転貸されている起債なども含まれていることは当然です。



第3表 昭和46年度一般会計歳出性質別分類

(単位千円)		
人件費	131,264	18.4%
扶助費	10,209	1.4%
公債費	55,058	7.7%
物件費	52,666	7.4%
維持補修費	7,902	1.1%
補助費等	104,377	14.6%
積立金	5,609	0.8%
投資及び出資金・貸付金	956	0.1%
繰出金	3,530	0.5%
投資的経費	343,081	48.0%

第1表 昭和46年度合川町歳入歳出決算総括表

(単位千円)		
一般会計	719,984	歳入
国保特別会計	92,424	歳出
簡水特別会計	2,562	
企業誘致特別会計	4,400	
宅地造成特別会計	10,819	
診療所会計	52,851	
簡水施設建設特別会計	3,725	
一般会計	714,652	
国保特別会計	89,629	
簡水特別会計	2,235	
企業誘致特別会計	4,313	
宅地造成特別会計	10,819	
診療所会計	51,388	
簡水施設建設特別会計	3,713	

第2表 昭和46年度決算分析(一般会計)

歳入				歳出			
款別	決算額	比率	町民1人当り	款別	決算額	比率	町民1人当り
町税	56,555	7.9	5,686	議会費	13,445	1.9	1,352
地方譲与税	1,450	0.2	146	総務費	84,061	11.8	8,452
軽油自動車交付金	5,858	0.8	589	民生費	44,766	6.3	4,501
地方交付税	261,549	36.3	26,297	衛生費	26,450	3.7	2,659
交通安全交付金	66		7	労働費	1,524	0.2	153
使用料	6,594	0.9	663	農林水産業費	223,121	31.2	22,433
手数料	923	0.1	93	商工費	580	0.1	58
国庫支出金	40,662	5.7	4,088	土木費	79,903	11.2	8,034
都道府県支出金	142,698	19.8	14,347	消防費	27,007	3.8	2,715
財産収入	54,053	7.5	5,435	教育費	149,801	20.9	15,061
寄付金	7,388	1.0	743	災害復旧費	7,407	1.0	745
繰入金	4,223	0.6	424	公債費	55,147	7.7	5,545
繰越金	6,350	0.9	638	諸支出金	1,440	0.2	145
諸収入	12,015	1.7	1,208				
地方債	119,600	16.6	12,025				
合計	719,984	100.0	72,389	合計	714,652	100.0	71,853

第4表 地方債の状況 (単位千円)

